【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成28年7月7日(2016.7.7)

【公開番号】特開2016-52894(P2016-52894A)
【公開日】平成28年4月14日(2016.4.14)
【年通号数】公開・登録公報2016-023
【出願番号】特願2016-1883(P2016-1883)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｊ　6/04　(2006.01)
Ｆ２１Ｓ　8/10　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ 115/10　(2016.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｊ　6/04
Ｆ２１Ｓ　8/10　３７１
Ｆ２１Ｓ　8/10　３５２
Ｆ２１Ｓ　8/10　３２０
Ｆ２１Ｓ　8/10　３３０
Ｆ２１Ｙ 101:02

【手続補正書】
【提出日】平成28年5月18日(2016.5.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、光源を備えたハウジングと、光源からの光を透過するインナーレンズと、光源及びインナーレンズを覆うアウターレンズとを備えた車両のリアランプに関する。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明に係る車両（１２）のリアランプ（１０）は、光源（２２）と、前記光源（２２）を備えたハウジング（２６）と、前記光源（２２）からの光（３８）を透過するインナーレンズ（４４）と、前記光源（２２）及び前記インナーレンズ（４４）を覆うアウターレンズ（７８）とを備えた車両（１２）のリアランプ（１０）であって、以下の特徴を有する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
第１の特徴；前記光（３８）に対して不透過の部材、又は、前記光（３８）に対して透過性の低い部材で形成される壁部（７４）が、前記アウターレンズ（７８）及び前記ハウジング（２６）で形成される内部空間に設けられる。前記インナーレンズ（４４）は、前

記車両（１２）の後方に向かって延び、前記光（３８）を後方に導光する第１突出部（５２）及び第２突出部（５４）を有する。前記壁部（７４）は、前記第２突出部（５４）の少なくとも一部に沿うように形成されることにより、前記第２突出部（５４）から前記光（３８）を後方に透過させる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
第２の特徴；前記インナーレンズ（４４）は、前記光源（２２）からの光（３８）を透過する部分に複数の凹凸が形成された凹凸部（５０）をさらに有する。前記第１突出部（５２）は、前記凹凸部（５０）から後方に向かって延び、前記光（３８）を後方に導光する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
第３の特徴；前記インナーレンズ（４４）は、前記光源（２２）からの光（３８）を透過する部分に複数の凹凸が形成された凹凸部（５０）と、前記凹凸部（５０）から後方に向かって延び、前記光（３８）を後方に導光する第１突出部（５２）とを備える。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
第４の特徴；前記インナーレンズ（４４）は、前記車両（１２）の後方に向かって延び、前記光（３８）を後方に導光する第２突出部（５４）をさらに備える。この場合、前記光（３８）に対して不透過の部材、又は、前記光（３８）に対して透過性の低い部材で形成される壁部（７４）が、前記アウターレンズ（７８）及び前記ハウジング（２６）で形成される内部空間に設けられる。これにより、前記壁部（７４）は、前記第２突出部（５４）の少なくとも一部に沿うように形成されることにより、前記第２突出部（５４）から前記光（３８）を後方に透過させる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
第５の特徴；前記アウターレンズ（７８）は、後方に向かうにつれて傾斜して形成され、前記アウターレンズ（７８）の上方に、前記光源（２２）からの前記光（３８）を導光する前記第１突出部（５２）の後方端部（５６）が位置されてなる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１２】
第６の特徴；前記インナーレンズ（４４）は、所定の輪郭を有する第１突出部（５２）と、該第１突出部（５２）の輪郭とは異なる輪郭を有する第２突出部（５４）とを備え、前記第１突出部（５２）及び前記第２突出部（５４）の形状通りの前記光（３８）を後方に照射する。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
第７の特徴；前記アウターレンズ（７８）は、後方に向かうにつれて傾斜して形成され、前記アウターレンズ（７８）の上方に、前記光源（２２）からの前記光（３８）を導光する前記第２突出部（５４）の後方端部（５８）が位置されてなる。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本発明の第１の特徴によれば、壁部を第２突出部の少なくとも一部に沿わせることができるので、該第２突出部の形状に沿って車両の後方に光を照射させることができる。これにより、車両の後方からの被視認性を向上させることができる。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
本発明の第２の特徴によれば、光源からの光を凹凸部を介して第１突出部及び第２突出部に導光し、車両の後方に透過させた場合、後方に照射される光は、後方からリアランプを見たときに、インナーレンズの輪郭に沿った光となって視認される。これにより、車両の後方からの被視認性をさらに向上させることができる。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明の第３の特徴によれば、光源からの光を凹凸部を介して第１突出部に導光し、車両の後方に透過させた場合、後方に照射される光は、後方からリアランプを見たときに、インナーレンズの輪郭に沿った光となって視認される。これにより、車両の後方からの被視認性を向上させることができる。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
本発明の第４の特徴によれば、壁部を第２突出部の少なくとも一部に沿わせることがで

きるので、該第２突出部の形状に沿って車両の後方に光を照射させることができる。これにより、車両の後方からの被視認性を一層向上させることができる。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
本発明の第５の特徴によれば、光源からの光を第１突出部で導光して、車両の後方に透過させた場合、後方に照射される光は、後方からリアランプを見たときに、インナーレンズの輪郭に沿った光となって視認される。これにより、車両の後方からの被視認性をさらに高めることができる。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
本発明の第６の特徴によれば、インナーレンズの第１突出部及び第２突出部の形状通りの光を後方に照射することができるので、後方からリアランプを見たとき、インナーレンズの輪郭に沿った光となって視認される。これにより、車両の後方からの被視認性を一層向上させることができる。
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
本発明の第７の特徴によれば、光源からの光を第２突出部で導光して、車両の後方に透過させた場合、後方に照射される光は、後方からリアランプを見たときに、インナーレンズの輪郭に沿った光となって視認される。これにより、車両の後方からの被視認性をより向上させることができる。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
インナーレンズ４４は、図３の背面視で略Ｍ字状（下に凹の形状）に形成されたレンズであり、各ＬＥＤ光源２２からの光３８を透過可能である。すなわち、インナーレンズ４４は、前方の各ＬＥＤ光源２２に対向し、且つ、透過した光３８を後方に拡散させるフレネルレンズとして機能する接続透過部（凹凸部）５０と、接続透過部５０の下端部から後方に突出し且つ後方に光３８を導光する第１突出部５２と、接続透過部５０の上端部から後方に突出し且つ後方に光３８を導光する第２突出部５４とから構成される。
【手続補正１８】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項１】
光源（２２）と、前記光源（２２）を備えたハウジング（２６）と、前記光源（２２）からの光（３８）を透過するインナーレンズ（４４）と、前記光源（２２）及び前記インナーレンズ（４４）を覆うアウターレンズ（７８）とを備えた車両（１２）のリアランプ（１０）において、
前記光（３８）に対して不透過の部材、又は、前記光（３８）に対して透過性の低い部材で形成される壁部（７４）が、前記アウターレンズ（７８）及び前記ハウジング（２６）で形成される内部空間に設けられ、
前記インナーレンズ（４４）は、前記車両（１２）の後方に向かって延び、前記光（３８）を後方に導光する第１突出部（５２）及び第２突出部（５４）を有し、
前記壁部（７４）は、前記第２突出部（５４）の少なくとも一部に沿うように形成されることにより、前記第２突出部（５４）から前記光（３８）を後方に透過させることを特徴とする車両（１２）のリアランプ（１０）。
【請求項２】
請求項１記載の車両（１２）のリアランプ（１０）において、
前記インナーレンズ（４４）は、前記光源（２２）からの光（３８）を透過する部分に複数の凹凸が形成された凹凸部（５０）をさらに有し、
前記第１突出部（５２）は、前記凹凸部（５０）から後方に向かって延び、前記光（３８）を後方に導光することを特徴とする車両（１２）のリアランプ（１０）。
【請求項３】
光源（２２）と、前記光源（２２）を備えたハウジング（２６）と、前記光源（２２）からの光（３８）を透過するインナーレンズ（４４）と、前記光源（２２）及び前記インナーレンズ（４４）を覆うアウターレンズ（７８）とを備えた車両（１２）のリアランプ（１０）において、
前記インナーレンズ（４４）は、前記光源（２２）からの光（３８）を透過する部分に複数の凹凸が形成された凹凸部（５０）と、前記凹凸部（５０）から後方に向かって延び、前記光（３８）を後方に導光する第１突出部（５２）とを備えることを特徴とする車両（１２）のリアランプ（１０）。
【請求項４】
請求項３記載の車両（１２）のリアランプ（１０）において、
前記インナーレンズ（４４）は、前記車両（１２）の後方に向かって延び、前記光（３８）を後方に導光する第２突出部（５４）をさらに備え、
前記光（３８）に対して不透過の部材、又は、前記光（３８）に対して透過性の低い部材で形成される壁部（７４）が、前記アウターレンズ（７８）及び前記ハウジング（２６）で形成される内部空間に設けられ、
前記壁部（７４）は、前記第２突出部（５４）の少なくとも一部に沿うように形成されることにより、前記第２突出部（５４）から前記光（３８）を後方に透過させることを特徴とする車両（１２）のリアランプ（１０）。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか１項に記載の車両（１２）のリアランプ（１０）において、
前記アウターレンズ（７８）は、後方に向かうにつれて傾斜して形成され、前記アウターレンズ（７８）の上方に、前記光源（２２）からの前記光（３８）を導光する前記第１突出部（５２）の後方端部（５６）が位置されてなることを特徴とする車両（１２）のリアランプ（１０）。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか１項に記載の車両（１２）のリアランプ（１０）において、
前記インナーレンズ（４４）は、所定の輪郭を有する第１突出部（５２）と、該第１突出部（５２）の輪郭とは異なる輪郭を有する第２突出部（５４）とを備え、前記第１突出部（５２）及び前記第２突出部（５４）の形状通りの前記光（３８）を後方に照射することを特徴とする車両（１２）のリアランプ（１０）。

【請求項７】
請求項１、２、４のいずれか１項に記載の車両（１２）のリアランプ（１０）において、
前記アウターレンズ（７８）は、後方に向かうにつれて傾斜して形成され、前記アウターレンズ（７８）の上方に、前記光源（２２）からの前記光（３８）を導光する前記第２突出部（５４）の後方端部（５８）が位置されてなることを特徴とする車両（１２）のリアランプ（１０）。